

つるのおんがえし



「ご縁」をいただいたあなたへお届けする、「大きな想い」の「小さなお手紙」



見たくないものも確かにある。
だからこそ僕は、
みんなを楽しくしたい！



正月鬱!?というものがあ
るとしたら多分、僕、それで
した。昨年の正月も同じで
早朝に、はっ!と目が覚めて
しまっ!と目を過ごし、はあ、
ため息。普段からガッツと
仕事して、バタッと休んで
が交互になっている僕には
長い休みは合わないみたい。
ということ、お正月ボケ
はさすがに収まりましたよ
ね?(笑)感動創庫の芦川
永光です。

つるおん読み直してます

今年最初の動きとして、
これまでのつるのおんがえ
しを、すべてデータにして
振り返っているところです。
今日まで112号!よく積み上
げたもんだ。たくさんある
分、文字起こしもなかなか
のポリウムですが、あま
りの懐かしさにじっくり読
み直しちゃっんですよ。

昔の僕は若いのはもちろ
んです、あまり深刻に考
えず、楽しむこと優先で

色々なことに取り組んでい
ました。稼ぐことに没頭し
ているわりにはギスギスせ
ず、前向きな青年だったな
あつて。「そっかあ!」と唸る
ような気づきを紙面の中の
僕が、今の社会の動きに揺
さぶらわっている僕目掛けて
投げつけてくるんです。

読んでいるうちに、なん
だか歳を取っちゃったなあ
と感じていました。最近
は根拠のない自信に、ちよっ
とくらい確信がついてきた
ことで生意気さは収まって、
代わりにかなり生真面目に
なってきたなあつてことと、
アピールしていたわけじゃ
ないけど頑張っている感出
ているよね!?というのは妻
からのご指摘。まあ、要する
に、置きに行ってるじゃ
ん!つてことつす。

もっと楽しい紙面に
していききたいな

んなるー!!昔の自分
面白い奴です。なかなか手

強いっす(笑)今の方が数段
楽しんでるはずなのに、
近年のつるのおんがえしの
中の僕、まだまだいけるは
ずなのにイケてない!!そう
か!多分時代のせいじゃ
ん!そうそう、ここ最近の
騒ぎに敏感になってんだ!
とは言っても、自分が変わ
ること、世界が変わり
ようがないと僕はちゃん
と知っている。なのに、なん
ですか!社会のせいになん
かしちゃつて!

ということ、ハアハア
息が上がっちゃいました、が、
深呼吸をして…。らしく、な
ろうと思えます。僕らしく、
やります。今やるとお縄で
すが、スッポンボンで外を
歩き「大学生、元気だな!」
と言われたあの頃くらいに、
弾けてみます。

こんな僕が、今年始めた
「何の制限もかけられず思
いのままに生きられる世
界」の実現を目指す活動。よ
かったらぜひ新しいホーム
ページを覗きにきてくださ
い!

新しいHPです!!
kando-soko.co.jp



株式会社 感動・創庫
kando-soko

〒259-1145

神奈川県伊勢原市板戸208-103

☎0463-79-9777 FAX0463-79-9778

https://kando-soko.co.jp

感動・創庫

料金後納
郵便

ゆうメール

102歳のおばあちゃん



僕が小学生の頃から就職するくらいこの時期まで一緒に暮らしていた大正4年生まれのおばあちゃん昔お習字の先生だったの、年賀状の宛名書きはおばあちゃんに頼んでいました筆で書いた文字は子供でも凄みを感じるほど品格があったんですね。
小学4年生まで住んでいた借家では二段ベツトの上と下で寝ていて、一台のテレビを一緒に見

ていたのでファミコンをやりたくてたまらない僕が熱中している時に、電源をブチっと引っこ抜かれたりしていました。厳しいというよりも普段は静かで言うときに「はちゃんと言うって感じでした。」

親子、兄弟、孫と祖母 いろいろあるよね

子供の頃の記憶でよく父と喧嘩をしていたんですよね子供ながらに感じていたのはおばあちゃんはどうやらお兄さん僕にとつて叔父さん)が好きで末っ子の父とは何でかわからないけど衝突していたんです父が言っていたんですよ「俺にはさんざ〇〇しろって言ってただろうが！みたいなことをね。」

なんかねこれも自然なのかなあって思っちゃうような僕は変な子供だったんですけど末っ子の父が僕ら三人兄弟を育てるときにやっぱり末っ子の弟には優しくかつたと長男の僕は感じていたんですおばあちゃんかそうだったからかもしれないというのはい最近に自覚したことではありますけどね。

今おばあちゃんは父のお姉さん僕の叔母さんと一緒に住んでいて、この日はウチの実家僕の父と母が住んでいる家に久しぶりに来るとい

ことで「アンタも来なよ！」と呼ばれて行きました。

耳は遠くても 頭脳明晰

久しぶりのおばあちゃんにはよく毛染めしていた髪を全く染めなくなっていたので真っ白になっていました。僕からはほとんど変わらぬ元気なおばあちゃんのままでした。僕のこととは最初弟と間違えていて「一緒に暮らしてたじゃん！」って言うても耳が遠いせいもあるんですけど「さう感じでしたけど、さうだ永光くんさうさうだ」と子供頃の僕とだんだん同化したのかなって思いました。そして1歳半の千弘を見ても「良い名前だね！字がすぐ読める名前が一番良いよ」と言ってもらいました。さすがは習字の先生まだまだ冴えてい

ます。
**人は皆、いつか
分かり合える**

孫である僕の中でも小さくまた一つ固まった感情が溶けた感触がありました。火はきつと歳を重ねる意味などは気にせず生きてそれでもいいつしかすべてと和解決いていくのでしようねうんこれで良いのだ！

先日、見たことがあるフリーズ、っていうか僕らが考えたネーミングじゃん！と気づいたチラシが届きました。同じ神奈川県内で作ったチラシで使っていたサービス名が真似されていたんです。しかも最近、こういうことがちよつとずつ増えてきたんです。

編集後記

真似されてナンボ

韓国のサムスは日本の松下電器を真似て成長したというの、現地のタクシードライバーさんから聞いたお話。真似をされるといのは、ここでやっと一流になった証なのでしょう。もつと真似されるものを世に出して、僕が循環の始まりになってみせましようぞ！

